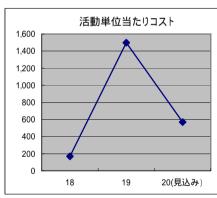
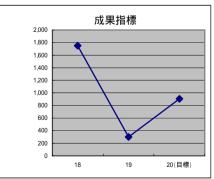
平成 20 年度 事務事業評価シート(平成 19 年度実施事業)

整理番号 保高24

市政市兴力		介護保険趣旨普及事業				8	介護保険特別会計				
=	事務事業名	川語	技体 快趣日首以 事 来	予	款	1	総務費				
総合	まちづくり	2	(伊麻が仕させき と草とせてやさしいまた	算科	項	4	趣旨普及費				
総合基本計画	の目標(章)		健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	目	目	1	趣旨普及費				
本計	施策(節)	3	高齢者福祉		事業	1	趣旨普及費				
画	施策の方向			作	作成部署 保		健福祉部保険健康室高年介護課				
関	連する計画等			連	連絡先 072 958 1111 内線 1360						
事	事 対象(誰を・何を)										
業の目的	介護保険被保	倾	当、介護者を抱える市民及び介護事業者								
目	意図(どう)	り	犬態にしたいのか)								
的											
事業の内容	内										
7	根拠法令等										
事	業開始時期		昭和 ☑ 平成 12 年 月開始 □ 明日	確に	はわか	らな	い 終了年度 平成 年度				
	事業開始時から D状況変化 事業の基本となる法改正がある。										
市! 望	市民や議会の要 望										
	実施手法	✓	直営 一部委託 全部委託		補助金	・貝	加成金 □ その他()				
委託先											
			18年度 19年度		20年度						

	区分			18年度		19年度		20年度		
		스	ת		(実績)	(実績)	(見込∂	<u>ሃ)</u>
事	事業費【1】 (千円				1,749		298		908	
人1	人件費【2】 (千			(千円)	4,	200	4,200		2,520	
	日本小	正規職員			0.50	人	0.50	入	0.30	人
	職員数	再任用職	員		0.00	人	0.00	入	0.00	人
		嘱託職員			0.00	人	0.00	入	0.00	人
	双人	臨時職員			0.00	人	0.00	人	0.00	人
	超	過勤務(参	考)	(時間)	0.00	時間	0.00	時間	0.00	時間
総	総事業費(【1】+【2】)【A】(千円		(千円)	5,949		4,498		3,428		
	財源内訳	国費		(千円)						
		府費		(千円)						
		市債		(千円)						
		その他	(手数料・使用料等)	(千円)						
		一般財源		(千円)	5,	949	4,	498	3,	428
活	動指	「標(事業の	の活動実績)【B】	単位	18年度		19年度		20年度(目標)	
	パ:	ンフレット	∽購入	部数	35,	450	3,	000	6,	000
活動	活動単位当たりコスト(【A】/【B】)				168	8 円	1,499	円	571	円
市	市民1人当たりコスト(【A】/人口)				49 円		37 円		29 円	





	<u>_</u>	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
<u>_+</u>	達成度	介護保険趣旨普及事業	事業費	目 標 1,749	298 達成率(%)	908
成果		(式)		実績 1,749	298 100.0%	
指標				目標	達成率(%)	
	指標)	(式)		実績		

	市		市の関与が必要な理由											評価			
の			1 2 3 4 5 6						7	8		9	必要性	分析・評価の説明			
	関与の必要		法令上 の義務	受益者 が不特 定多数	最低限 の生活 水準を 確保	市民の 不安を 解消	社会的 経済的 弱者を 対象	民間だ けでは 負担しき れない	民間だ けでは 供給不 足	色市	の特 等を 内外 発信	にも受 益があ	有	法令に基づく事業の周知 を図る必要がある。			
	必 要 性																
	視点	点	分析のためのチェック点						はいい		該当なし		分析・	評価の説明			
			市民ニー	ズが高い					V		_			D周知を図り当該事業へ			
			市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない						V			の理解と協力を得る必要がある。					
			社会情勢の変化に対応している														
	妥当	i性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない] I							
			国・府の事業と重複していない									<u> </u>					
			事業を休」	止、廃止した	た場合の影	響度が大き	<u> </u>		<u> </u>]					
			緊急性が認められる]	V						
			単位コスト	∖が適切でむ	5る(経年、	他市比較な	ほど)		V					ら出来る限り既存のPR紙			
			受益者負	担の割合は	t適当である	3					\square_{ξ}^{2}	を沽用す 怒めてい	る寺の⊥ヲ ス ▽ E	たを行いコスト面低下に 民間事業者等への集合的			
\sim			人員を削減する余地がない											ともあり効率性に繋がる			
分 析	効率	性	事業費を削減する余地がない						☑ [□□	ものと考える。					
•			簡略化できる方法や手段がない														
評価			市の他事業と重複していない]							
曲			民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用につい て検討の余地がない														
			上位の施策(目的)が明確である						V]				1ては、3年毎の事業計			
	有効性		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である]				着者情報変更等があり、 B提供は必要である。			
	HWIE		成果を向上させる余地がない]			100 0 IAT				
			市民の視点にたってサービスが提供されている]			-8 4 1114				
	協働性		事業の企画、立案に市民が参加している] [☑ ?	去令に基	づく事業で	での趣旨普及である			
			事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている] [
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 							_	<u> </u>						
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている 成果指標の目標値は適正である						<u> </u>		<u> </u>	5567	物色光刀	hợc 나바늘차+ ハンᆃᆠ			
	\ + +									=-	— ,		趣旨普及/ が困難でa	内容には相違があり達成 ある			
	達成度		成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している								-	Z ∨ J []]/± .	73 ELIXE C 0	J & 0			
				は削牛度よ	リ回上して	いる				<u> </u>	✓						
総合評価																	
] 拡大·充実 🔽 現状維持 🗌 方法改善 🗌 民営化·民間委託 🔲 縮小 🔲 廃止·休止 🗌 完了														
3		評価	価の理由														
: :	当部司秤	制度	への理	解を得る	らためー	定の理解	解を得た	ものと思	慮する。	ò							
		今後	に向けて	(取組方	<u>針、具</u> 体的	勺な改善さ	<u>女革案</u> なる	<u>") </u>									
		今後		高齢者に	こわかり	やすい趄	 図旨普及	 を行う。				_	_				